



2/24
北海道新聞
千歳・恵庭版

カード使つたゲーム通じー

避難所運営を疑似体験

恵庭

【恵庭】地域の防災リーダーを育てる北海道地域防災マスター認定者研修会が21日、市民会館で開かれ、町内会関係者の同マスター認定者94人がリーダーとしての心構えなどを学んだ。

道は一昨年5月に地域防災マスターの講習会を市内で開き、市民約140人を認定。これを機に、認定者に地域の防災リーダーとして意識を高めてもらおうと市が同8月から研

修会を始め、今回で3回目。

この日は、地域防災に関するセミナーを開催するインタラクション研究所（札幌）の安田睦子代表が防災の心構えなどを解説。その後、参加者が8～10人のグループに分かれ、避難者の年齢や性別、国籍などが書かれたカードを使つたゲームで避難所運営を疑似体験した。島松寿町町内会の岡本武副会長（75）は「けがの程度や性別などに配慮して振り分けるのに戸惑った。いざという時のため繰り返しシミュレーションしたい」と話していた。（佐々木風人）

カード使つたゲームで避難所の運営について疑似体験する参加者